

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	公共インフラを活用した観光振興事業
事業主体 (連絡先)	下伊那郡西部3か村地域振興協議会 代表 熊谷 秀樹 (0265-43-2220)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,733,912 円 (うち支援金: 2,178,000 円)

事業内容

阿智村、平谷村及び根羽村の中でランドマークとなるような橋 10 か所をカードにして、村内の観光施設等を利用すると、その施設毎に定めたカードを入手できるようにした。

10枚目のカードは、残りの9枚のカードをすべて集めることで入手できるようにし、コレクター意欲の向上を図った。また、当地域内のドライブコースを設定し、特典付きのミッションを付加し利用促進を図った。

写真を多く使用しデザイン性を高めたパンフレットを作成し、東海地方及び関東地方の道の駅や観光施設等にプロモーションをすることで交流人口の増加を図った。



【作成した橋カードのサンプル】

【目標・ねらい】

- ①橋（公共インフラ）を活用し新たな観光振興。
- ②域内を周遊してもらい、交流人口増加及び消費喚起を図る。

事業効果

1月12日（土）より配布を開始し、コンプリートされた方は現時点で3組。その方々へ話を伺うと、当事業を通して今まで訪れたことのない場所や施設を訪れるきっかけとなれた、パンフレットのデザインも可愛く見えてわくわくするといった意見をいただいた。また、3月末時点でコンプリートを達成した方は3組であるが、ミッションのある施設では、毎週数名～数十名の利用があり、多くのパンフレットを配布できている。

今後も道路を観光資源の切り口として配布・活用していくことで新たな交流人口が生まれ、地域での消費の喚起が期待できる。

※自己評価 【B】

【理由】

橋を活用し、新たな観光振興が図られた。配布時期は遅れたが、閑散期でも一定の消費喚起ができた。

今後の取り組み

来年度以降も、より多くのパンフレットを配布し、南信州西部地区の観光施設を訪れてもらうため継続的なプロモーションを実施していく。また、各施設からの発信が利用促進につながるため、各施設との連携しながら橋カードを活用した観光振興に取り組んでいく。